

## 編集 後記

日本公衆衛生雑誌第63巻第12号をお届けします。本号には、原著2編、公衆衛生活動報告2編が掲載されています。原著の1編は、超高齢社会において今後ますます重要になる地域での介護予防にかかわる「地域在住高齢者における社会的活動への参加と体力との関連」を調べた横断研究でした。社会的活動への参加が、経済的要因や生活習慣や既往歴等の影響を調整しても体力と関連するという結果は、地域での社会的活動への参加を促進するためのエビデンスが得られる可能性を示した意義深いものでした。原著の2編目は、妊娠前に痩せていた妊婦の栄養状態と食物摂取状況の特徴を調べた研究で、食事記録を用いて栄養素摂取量と料理の摂取量を推定することによって、対象者に貧血の人が多く、原因として主菜の摂取が少ないことと、その結果としてたんぱく質摂取量が少ないことを示した点に特徴があります。最近改善傾向とはいえ、20代女性の4分の1近くが痩せ過ぎであることを考えると、重要なハイリスクグループに注目した価値ある研究と思います。

公衆衛生活動報告は本誌の特徴で、1編は、かつて農村部や僻地の問題であった限界集落に近い状況が現れている都市部において、健康ボランティア育成を中核にした新しい地域づくりを目指した活動の報告、もう1編は「診療ガイドラインにおける禁煙推奨の位置づけに関する調査研究」と題して、24学会が医師に提示している診療ガイドラインを、FCTCに照らして評価したユニークな試みでした。今号も大変刺激的で興味深い内容でした。  
(中澤 港)

## 次号予告 (第64巻・第1号)

### 原著

心疾患で在宅療養する地域在住高齢者の心身機能の特徴……………解良武士, 他  
要支援認定を受けた高齢男性の社会活動とその目的……………平野美千代, 他  
地区組織活動経験が国民健康保険医療費に及ぼす影響: 長野県須坂市の保健指導員活動に着目して……………今村晴彦, 他

### 資料

和歌山県の地理的特性と自殺率の関係: 地理情報システムによる可視化と地域差を表す指標の検討……………岡檀, 他